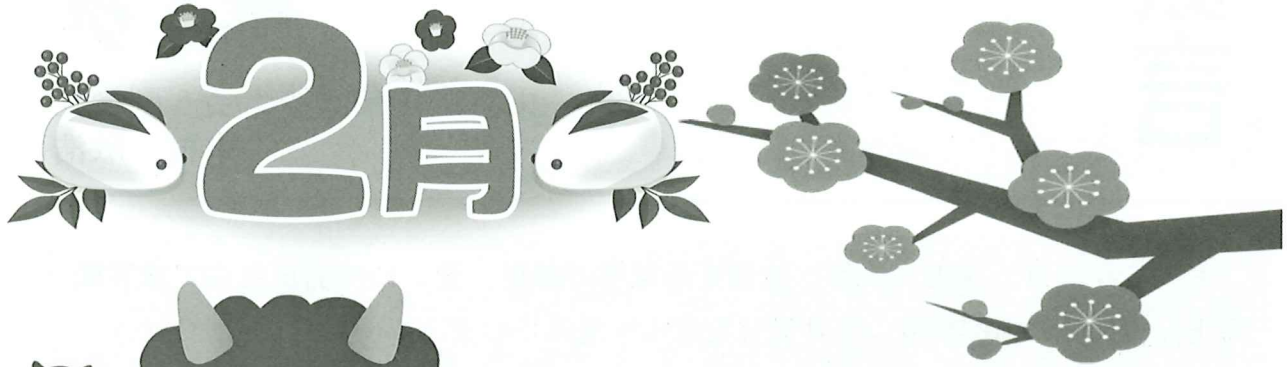




一般社団法人 山口県作業療法士会

No.337

# それっちゃ やまぐち



それっちゃデジタル版

## Contents

巻頭言	2
研修会案内	3
部局・委員会	4
事務局より	6
しっちょる	7
編集後記	8

# 巻頭言

## 波乱の年明けに



山口県作業療法士会 副会長  
中村 敏浩

令和6年元旦、夕方に突然、能登半島地震の報道、翌日には羽田空港で旅客機と海上保安庁機の衝突事故、正月気分など吹き飛んでしまう年明けとなりました。

この場をお借りして、亡くなられた方のご冥福を深くお祈りいたしますとともに、被災された方々に対して心からお見舞いを申し上げます。

被災された方々はトイレや入浴、食事など、普段の暮らしを奪われ、生活を大きく制限されています。普通に行っていた生活行為だからこそ奪われることの苦痛や苦労は大きく、当事者ではない我々の想像をはるかに超えるものだと思います。

災害支援において大切なことは時期や状況により刻一刻と変化するニーズを把握してその時に必要な支援を行うこと、そして関心を持ち続けることだと言われます。しかし、実際の支援にはさまざまなものがあり、激励の手紙や千羽鶴など、「気持ちは伝わるが飾る場所がない」「お礼の手紙を書く手間が増える」など、温かい厚意が必ずしもありがたいとは限らず、むしろありがた迷惑となる場面も多いと聞きます。

届いた食料が調理に電子レンジが必要なため、結局、使えないというようなことも。熱い思いによる善意だからこそ空回りすることがあるのかも知れませんが、相手が望んでいる支援と自分がしたい支援をはき違えてはなりません。まるで臨床場面での自分達に言っているようですが、熱い思いによる温かい厚意であるからこそ、冷静な対応が望まれるのだと思います。

また、被災地では障がいのある方、認知症の方など、支援が必要な避難弱者が孤立する恐れが懸念されていると言います。環境の変化にとまどい周辺症状（BPSD）に拍車がかかる認知症の方も多いでしょう。活動を制限されることで歩けなくなり動けなくなる高齢者も……。

生活行為を取り戻すため、適切なアセスメントがいかに重要であるかをあらためて再認識すると共に、平時から災害を想定した仕掛けづくりや、介護予防・自立支援の視点に立った対応など、OTだから貢献できる支援もあるのではないかと思います。

# 研修会案内

## 他団体主催の研修会案内

### 第9回 維新リハビリテーション研究会 開催のお知らせ

平素より当研究会にご支援頂きまして誠にありがとうございます。

第9回維新リハビリテーション研究会を下記の通り実施致します。要項をご一読のうえ、下記QRコードより参加案内希望のご登録をお願い致します。ご登録頂きましたアドレスに当日の案内をお送りいたします。前回までの募集にてご登録された先生は再登録は不要です。

1. 日 時：2024年2月14日（水）18：30 から 20：00
2. 開 催：Web（Zoom）
3. 参加費：無料
4. 生涯教育：日本作業療法士会 基礎ポイント1ポイント
5. 内 容：脳神経外科各論：「CI療法：課題指向型アプローチにおける目標設定」  
脳神経外科各論：「CI療法：行動変容戦略としての transfer package」  
整形外科各論：「手指の骨折」
6. 講 師：御書 正宏：周南リハビリテーション病院 認定作業療法士  
森脇 善幸：みなくるはうす下松 認定作業療法士  
小田 隆史：済生会山口総合病院 認定作業療法士
7. 注 意 点：
  - ① 参加証明書配布のため、インターネット環境下のPCで閲覧をお願いします。
  - ② 1名につき1つのアドレスでご登録下さい。
  - ③ 病院、施設などのアドレスは避け、個人のメールアドレスをご登録ください。
  - ④ 複数人での視聴は可能ですが、ポイントはご登録のアドレスの方のみとなります。
  - ⑤ 講義中に提示したスライドなど資料配布はありません。
8. 問合せ先：  
維新リハビリテーション研究会 森脇 善幸（もりわき よしゆき）  
メールアドレス：ishin.rehabili@gmail.com



以上

## 部局・委員会より

### 精神部会 事例検討会 活動報告

1月14日に精神部会として初めての事例検討会が開催されました。

発表「お互いに約束を交わす過程で主体性が表れてきた事例」

「対象者が希望する生活を創造していく協働の過程」

SV 講義「私を救ってくれた人たちの出会い～退院支援を通じた関りの中で～」

以上の内容で発表して頂き、OTRとして大切にしたい事を振り返る時間になりました。

#### 発表者の感想

- ・質問やご指摘をいただき、患者さんへの介入方法や、介入する時にはまずその方や病理についての理解を深める事が大切だと改めて勉強になった。また、OTRが中心となり他の職種を巻き込んで支援していく事、患者さんの周りの環境を整える手伝いは退院支援において重要だと感じた。
  - ・実際に発表して自分自身の関りの振り返りができた。先輩方とディスカッションを行い、アドバイスを頂き自分の考えを整理することができた。退院支援に向け患者さんとの関りを大切にしている話を聞くことができ貴重な体験になった。
- 今回の事例検討会で学んだ事を今後の関りに生かしていきたい。

#### 参加者からの感想

- ・初心にかえって日々の関りに取り組みたい
- ・担当の方との関りに活かしていきたい
- ・考えるべきポイントを知る事ができた









## 40周年記念事業実行委員会

テーマ「新時代への波動～未来をつなぐ系 ITO～」



先日、無事に40周年記念式典・記念講演を終了いたしました。  
 ご来場いただいた皆様、ボランティアとして参加くださった皆様、  
 ありがとうございます。

今回の40周年記念事業は1年間を通した取り組みのなかで、  
 県士会員の皆様のお力添えにより実行することができました。  
 感謝申し上げます。県士会員同士の絆を、新時代への波動とし、  
 未来へつなぐ系にできればと思います。



### 40周年記念誌について

ただいま40周年記念誌を作成しております。  
 県士会の皆様に、冊子でのお届けではなく、  
 各施設にDVDを1部記念誌データとして送  
 付致します。また個人でも閲覧できるよう、  
 QRコードでの配信も致します。いつでもどこ  
 でも見られる記念誌となる予定です。記念誌  
 完成までしばらくお待ちください。



メッセージカードをモザイクアートに手作業で編集中心。

### 県士会40周年記念品 マフラータオル



令和5年度会費納入済の会員に、順次お届けしています。今年度分未納入者にはタオルのお届け  
 できません。今年度の会費納入がまだの方はお早めに納入をお願いします。

# 事務局より

## 着文書

(R5.12.9 ~ R6.1.12)

<他県士会ニュース>

兵庫県 ニュースNo. 76

新潟県 ニュースNo. 23

石川県 ニュース第 129 号

秋田県 ニュース vol40 No. 3

北海道 ニュースNo. 171

長野県 OT ながのNo. 230 号

広島県 会報 251 号

岡山県 ニュースNo. 136

<冊子・パンフ等>

・認知症の人と家族の会

ぽ〜れば〜れNo. 520 山口支部版第 89 号

・山口県看護協会 きらめき 158 号

## 財務より

### 【財務部より】

正会員の方へ本年度お送りした振込用紙は、すでに使用できません。

会費の納入がまだの方は、郵便局の振込用紙を利用して至急振込をお願いします。

郵便局からお振込の方は指定の振込用紙に金額 8,000 円と記入し振り込んでください。

・会員証が届くまでは払込受領証を必ず保管しておいてください。

郵便振替口座 口座番号：01590-5-11556

加入者名：山口県作業療法士会

お問い合わせ先：山口県作業療法士会事務局

TEL：083-920-0171

\*職場の異動などがある場合、振込用紙に変更事項の記入だけでは会員データが更新されません。異動届の提出をお願いします（県士のホームページからも変更出来ます）。

現在 1 年会費未納で会員資格喪失となります。

早急のお振込みをお願いします。

## 会員名簿について

会員名簿は、希望のされる施設・自宅会員の方のみへの配布しております。

来年度の会員名簿の配布を希望される方は、メール・お電話にて 2 月末までに事務局までご連絡ください。今年度配布を受けた施設も 再度の連絡をお願いします。

なお、会員在籍施設一覧は、次年度も作成して全施設に配布いたします。

TEL/FAX：083-920-0171(10 時～ 15 時)

MAIL：ymgc-ot@ymgcot.onmicrosoft.com

配布は 7 月頃の予定です。



話のネタの  
豆知識!

# しっちょる?



今年は「うるう年」です。

いつもの2月は28日までですが、うるう年には29日があります。そもそも「うるう年」とはなんなのでしょうか？また、なぜ2月だけ他の月より日数が少ないのか？気になったことはありませんか？

“うるう”は漢字で「閏」と書いて、「余分」という意味があり、うるう年は通常の365日ではなく、366日になります。

現在、私たちが普段使っているカレンダーは正確には「グレゴリオ暦」といい、「太陽暦」のことです。この「太陽暦」の1年は365日とされていますが、これは地球が太陽のまわりを1周するのにかかる日数です。ですが、実際の地球の公転周期は365.2422日（365日5時間48分46秒）なので、暦と天体の動きにズレが生じます。このズレを補正するために、4年に一度、1年の日数を1日増やして調整するようになったのが「閏年」というわけです。

では、なぜ2月が調整の月になるのか？

古代ローマで使われた暦において、1年は現在の3月から始まり、現在の2月にあたる月が1年の終わりの月でした。そのため、わかりやすく最後の月となる2月にうるう年を設定することが由来するといわれています。

余談ですが、、、

2月29日生まれの人は、4年に一度しか誕生日がこない・・・なんてことはありません。日本の法律では、誕生日前日の終了時（午後12時）をもって加齢するため、2月29日生まれの人は、平年・閏年を問わず、毎年2月28日の午後12時に加齢されています。

また「4月1日生まれ」はなぜ1学年上になるのか？も、4月1日生まれの人は「3月31日午後12時」に年をとることになるためです。

※学校教育法では、満6歳に達した日の翌日以降における最初の学年の初めから就学する義務があるとされており、4月2日生まれの場合は、次の年度の4月1日から就学することとなります。



# 記事の掲載依頼について

- ☆ 原稿締め切り日は定例で毎月第2日曜日としております。(変更の場合あり)  
 次回3月号 (No.338) は令和6年2月11日が締め切りで、発行日は令和6年3月4日頃です。記事掲載希望の方は下記 E-MAIL アドレスへ送ってください。  
 E-mail : yot\_news@hotmail.co.jp  
 (書式は Word、フォントは明朝 10.5P 英数字は半角でお願いします。)  
 \*編集の都合上、レイアウト等一部変更させて頂くことがあります。ご了承ください。
- ☆ ニュースに対するご意見、ご感想をお待ちしています。  
 <県士会ニュース編集委員会> 編集委員長 : YIC リハビリテーション大学校 石丸 拓也  
 (TEL) 0836-45-1000 (FAX) 0836-45-1010



山口県作業療法士会  
LINE 公式アカウント



山口県作業療法士会  
公式 Instagram



それっちゃんデジタル版

## 【編集後記】

「相手が望んでいる支援と自分がしたい支援をはき違えてはなりません。」これは今月号の巻頭言の一節です。日常生活の中にも、「ありがた迷惑」や「良かれと思って・・・」と言う事は沢山あります。自分の生活に置き換えると、子供や学生たちの為に良かれと思い、先回りして親切に丁寧に世話をする。一見手厚く良い親、良い教員かもしれませんが、その実は相手が成長するチャンスを奪っていることも有るのだろうと感じます。また、相手が今望んでいることをそのまま提供すれば良いかと言えばそうでもなく、将来を見据え、あえて提供しない、あえて別の形に変えて提供する、などと言う事も必要なのでしょう。いつまで経ってもこのさじ加減が下手糞な私ですが、今年はこのさじ加減を課題として、物事の真のニーズに迫れる OT (大人) を目指したいと思います。

文責 : 石丸



それっちゃん  
やまぐち

月1回発行

- 発行 : 山口県作業療法士会 ニュース編集委員会
- 編集担当 : 石丸拓也 (専門学校 YIC リハビリテーション大学校)  
 山本隆次 (医療法人 愛の会 光風園病院)  
 吉長卓真 (医療法人社団 宇部興産中央病院)  
 鍵本州英 (介護老人保健施設 寿光園)  
 石部春奈

- 印刷所 : 社会福祉法人山口県コロニー協会経営 ワークショップ・山口 コロニー印刷



《一般社団法人 山口県作業療法士会 事務局》

〒753-0851 山口県山口市黒川2572-1 メゾン西京103

事務 児玉・岡崎 (Tel / Fax : 083-920-0171 Mail : ymgc-ot@ymgcot.onmicrosoft.com)

Web : <http://www.y-ot.jp/>